

2025年度コンビナート講習会 「エネルギー多様化で挑む、コンビナートのカーボンニュートラル」

主催：（公社）化学工学会 関東支部

世界的に地球温暖化による気候変動が深刻化しており、脱炭素社会の実現が強く求められています。本講演会では、石油精製・化学等のプラントにおけるカーボンニュートラル実現に向けた取り組みや技術について、エネルギー多様化の観点から幅広くご紹介いたします。水素、バイオマス、再生可能エネルギー、化石燃料の有効活用など、多様な選択肢を活用した挑戦の最前線を知る機会として、ご参加を心よりお待ちしております。

日 時： 2026年 2月17日(火) 13:10 ~ 17:00

会 場： 東京理科大学 森戸記念館 およびオンライン（ハイブリッド開催）

対面開催地：〒162-0825 東京都新宿区神楽坂4丁目2-2

https://www.rs.tus.ac.jp/jsmpem22/access_morito.pdf

募集人員： 会場 50名 + オンライン 100名

※ お申し込み時に「会場」または「オンライン」を選択してください。

※ 会場参加は先着順とし、上限を超えた場合はオンラインとさせていただきます。

募集締切： 2025年 2月6日（金）

参 加 費： 正会員 9,000円、法人会員社員 12,000円、会員外 15,000円、学生会員 2,000円

懇親会： 講習会終了後、東京理科大8号館2階にて、講師も参加の懇親会を開催いたします。
参加を希望される方は、講演会お申込時に「懇親会参加」もあわせてご選択ください。
参加費は、3,500円とさせていただきます。

申込方法： 関東支部ウェブサイト (<http://www.scej-kt.org>) の行事開催のご案内の「コンビナート講習会」をクリック後「参加申込みフォーム」をクリックするとフォームのウインドウが開きます。必要事項をご記入の上、送信下さい。

支払方法： お申し込み受付後、1~3日程で、ご登録いただきましたメールアドレス宛に請求書をお送りいたします。

※ 締め切り後のキャンセルの場合には、参加費をご請求させていただきます。

問い合わせ： 公益社団法人 化学工学会関東支部

〒112-0006 東京都文京区小日向4-2-8大樹生命文京小日向ビル4階

TEL：03-6801-5563、E-mail：info@scej-kt.org

プログラム：

<開会挨拶>

13:10 ~ 13:15 公益社団法人 化学工学会 関東支部 担当幹事

片山 学

<講演>

13:15 ~ 13:50

「素材産業の国際競争力強化に向けた産業政策」

経済産業省 土屋 博史 氏

今後、素材産業がカーボンニュートラルを目指しつつ、多様な変革の要請に的確に対応し、今後も国際競争力を維持・強化していくためにどのような取組が必要か、今後の素材産業の方向性について、GXの政策動向とともにご紹介。

13:50 ~ 14:25

「コンビナートにおける産業間連携によるカーボンリサイクルの検討」

コンビナート高度統合運営技術研究組合 見目 勇生 氏

日本のカーボンニュートラル実現へ、川崎・周南両地区でCO₂回収・再利用(CR)事業の実現可能性を調査。川崎はメタン、周南はメタノールを基幹物質とし、地域連携による低コスト・高効率な脱炭素化モデルを検討した。

14:25 ~ 15:00

「都市ガス業界のカーボンニュートラルに対する取り組み」

一般社団法人日本ガス協会 岡田 修一 氏

都市ガス業界では、2030年度に合成メタン(e-メタン)やバイオガスの1%供給、2050年にカーボンニュートラル化を目指した取り組みを進めている。本講演では、取り組みの最新動向と事例について紹介する。

15:00 ~ 15:10 【休憩】

15:10 ~ 15:45

「アンモニアサプライチェーンに係る取り組み」

株式会社JERA 長尾 隆司 氏

国内最大規模の発電事業者として「JERAゼロエミッション2050」を掲げ、再エネとゼロエミ火力の相互補完等により取り組みを進めている。水素・アンモニアサプライチェーン構築に関する技術開発として、アンモニアクラッキングを中心に紹介する。

15:45 ~ 16:20

「IHIグループにおけるアンモニアバリューチェーン構築の取り組み」

株式会社IHI 阿波野 俊彦 氏

脱炭素燃料として、そして、海外の豊富な再エネやCCS等の「環境価値」の輸送手段として、世界的に注目され、いよいよ社会実装段階に入ったアンモニア。その要となるバリューチェーンをつなぐ取り組みを紹介する。

16:20 ~ 16:55

「石炭ボイラでのバイオマス利活用によるカーボンニュートラルへの貢献～出光のブラックペレット事業～」

出光興産株式会社 中塚 清次 氏

石炭代替バイオマス燃料であるブラックペレットについて、年産12万トンの製造能力を持つ、世界最大規模の生産工場を建設し、商業運転を開始した。石炭ユーザーの脱炭素を実現するための現実解の一つとして、ブラックペレットの紹介とサプライチェーンへの取組を紹介する。

<閉会挨拶>

16:55 ~ 17:00 公益社団法人 化学工学会 関東支部 第二企画 委員長

金子 安延

<懇親会> (会場参加者の希望者／別会場へ移動)

17:20 ~ 19:20 東京理科大学8号館2階